



宮崎県 農業生産法人 有限会社すき特産 『柚子加工品（ゆずスライス等）を世界へ』

【主な品目】

ゆずスライス、ゆずピール、柚子胡椒

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド等

【輸出取組の概要】

- ◆ 自社と地域の103戸の農家（須木果樹振興協議会）が生産した特産品のゆずを加工して、所得向上と販路多角化のため、令和2年から輸出。
- ◆ ゆずピールは、アメリカと台湾へ輸出し、売り先の好みの味付けに工夫。

【輸出実績】（令和2年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和6年度	1,243	—	通年
令和5年度	1,653	—	
令和4年度	675	—	

【効果があった取組】

仲介商社から輸出先国商社の要望を共有し、商品のバリエーションを増やしたことで、売り上げを伸ばすことができた。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 輸出商品は小ロットであるため、国内輸出港までの輸送コスト低減が課題。
- 2 輸出先国の残留農薬の規制対応に懸念。
- 3 現地販売形態（小売店・レストラン等）に合わせた、商品設計が必要。

【生じた課題への対応】

- 1 運送会社の協力のもと、国内輸出港まで他社商品と混載輸送の実現。
- 2 産地の生産柚子について、残留農薬の検査を実施。
- 3 ゆずピール*は個人用、業務用の包装を作成。

*ゆずピールとは、ゆずの皮を砂糖で煮詰めて乾燥させた砂糖菓子

【対応の結果】

- 1 他社商品との混載輸送によりコスト低減され、価格競争が優位に進められた。
- 2 残留農薬検査を実施し、検査証明書の提示により信頼を確保。
- 3 個人用、業務用のラインナップにより、レストラン等の需要も増加。

【今後の課題・展望】

- 1 ゆずピールの新規輸出先国として、インドネシアに展開中（安定輸出を目指す）。
- 2 需要に応じた供給体制の整備（地域の柚子生産基盤強化、加工場の能力強化）。
- 3 付加価値を付けた商品展開を模索（有機食品）。
- 4 果汁を絞った残渣を活用して新商品（ゆずジャム）の開発。
- 5 高齢化や後継者不足により、耕作放棄されている農地や園地を借用又は購入して、ゆず生産量の維持・拡大を図る。



須木産ゆず



ゆずピール

【活用した支援・施策】（国）産地連携推進緊急対策事業(ハード) 令和6年度補正

【ウェブサイト】 <http://kuri-yuzu.co.jp/>

【連絡先】 担当者名：椎屋、TEL：0984-48-3085